

令和元年度 千葉県中学校総合体育大会 バasketボールの部 総評

第73回千葉県中学校総合体育大会Basketボールの部は、八千代市民体育館をメイン会場に、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。

男子のベスト4には、今シーズン負け無しの八千代松陰（八千代）を筆頭に、強豪辰巳台（市原）、激戦区船橋地区を勝ち抜いてきた前原（船橋）、大穴（船橋）が進出した。

準決勝の八千代松陰と大穴の対戦は、互いにインサイドやリバウンドに徹底して対応するなど、粘り強くディフェンスをして一進一退の攻防を繰り返した。八千代松陰は⑦坂本のドライブやインサイドのオフェンスから得点を重ね引き離しにかかる。大穴も果敢に1対1で攻めるが、八千代松陰がディフェンス、オフェンス共にリバウンドを制してリードを広げ、そのまま決勝に駒を進めた。

もう一方の前原と辰巳台の準決勝は両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。後半、辰巳台は速攻から⑦関谷がゴール下でファウルを誘い、FTを決めるなど、徐々に点差を広げ始める。前原は⑧浅沼のアウトサイドシュートや⑥井上の3P、速攻などで食らいつく。第4Q序盤、前原は⑤橋本⑦石神のジャンプシュートで立て続けに得点し2点差まで詰め寄るも、辰巳台は慌てず、⑦関谷や⑫近藤のアウトサイドシュートで再び引き離す。辰巳台はリードを守り接戦を制して決勝進出を決めた。

男子決勝戦の、八千代松陰と辰巳台は互いに、ハーフコートマンツーマンでスタート。両チームとも速い展開で、得点を重ねていく、辰巳台は⑥永島のインサイドと⑤駒谷、⑧倉田のミドルシュートが決まり、得点を伸ばす。一方、八千代松陰は⑦坂本の1対1を中心に⑨片桐のシュートもよく決まり得点を重ねていく。第2Q、八千代松陰が速攻や⑦坂本のスリーポイントで突き放しにかかる。一方の辰巳台は食らいつこうと果敢にミドルシュートを放つも、なかなか決まらずその差が開き始める。

後半、八千代松陰は速攻や1対1ですらに得点を重ね勢いに乗る。辰巳台は交代で入った⑩渡辺、⑬仲田が奮闘するも、流れは八千代松陰に。最終Q、八千代松陰は速攻や1対1の手を緩めず得点を重ねていく。辰巳台は必死に食らいつこうと、リバウンドやディフェンスで粘るも、その差が縮まらない。辰巳台は、交代で入る選手たちが懸命にボールを追い、食い下がるも、終始スピードと高さを生かしリズムを譲らなかった八千代松陰がリードを守り試合終了。スピードと高さのある迫力のゲーム展開を見せた両チームに、会場から拍手が送られた。両チームの関東大会での活躍が楽しみである。

女子のベスト4には、新人、選手権と圧倒的な強さを見せている第1シードの翔凜（君津）をはじめ、女王への返り咲きを狙う昭和学院（市川・浦安）のほか、激戦区船橋を勝ち抜いてきた習志野台（船橋）、宮本（船橋）が進出した。

準決勝、翔凜と宮本の対決は、最終Q、宮本の④木村、⑤石井、⑬大澤のスリーポイントが決まり勢いに乗ると、宮本は激しいオールコートディフェンスで相手のミスを誘い得点するも、翔凜は③四方のスリーポイント、①高橋のジャンプシュートで応戦し、リードを守って試合終了。翔凜が決勝に駒を進めた。

習志野台と昭和学院の準決勝は、試合開始直後から互いに激しいディフェンスでスタートした。習志野台がスリーポイントで突き放すと、昭和学院④大城が取り返し、一進一退の攻防が続く。後半、昭和学院がオフェンスリバウンドからの得点を重ねてリードを奪う。習志野台はオールコートマンツーマンディフェンスで逆転を狙うも、冷静にゲームを進めた昭和学院が決勝に駒を進めた。

女子決勝の翔凜対昭和学院は、開始早々、お互いハーフコートマンツーマンで互いに激しく守り合い、2分間得点が入らない状況から始まった。翔凜が⑭高木のレイアップで口火を切ると、対する昭和学院は④大城を中心にOFを組み立てていく。第2Qに入り翔凜の激しいDFからの速攻が続き、⑪川井田のポイントで徐々にリードを広げていく。昭和学院も⑥野本⑦小松崎のリバウンドで食らいつき、翔凜のファウルも重なって点差を徐々に縮めていき、前半を23-20の翔凜3点リードで折り返す。

第3Q、翔凜はエンドスローインから⑤菊地が冷静にゴール下を決め流れをつかもうとするが、逆に昭和学院④大城、⑥野本が果敢にドライブを決め、⑦小松崎の速攻も決まり、残り3分ずついに同点に追いつく。第4Qに入り翔凜は⑩内藤のハイピック、ポストプレーから組み立てていくが、昭和学院の勢いは止まらず、⑦小松崎のドライブが決まり5点差となったところで翔凜タイムアウト。⑭高木のバックシュートで詰めるが、その後互いに激しいDFで一進一退の攻防を続け、点差は縮まらない。最後まで激しいDFに負けずに粘った昭和学院が、見事に雪辱を果たした。破れはしたものの、諦めずに戦った翔凜の健闘を称えるとともに、両チームの関東大会での活躍を期待したい。

男女ともに上位2校は、8月6日から埼玉県深谷市、桶川市で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の特権を得られる。激戦区関東を勝ち抜き、全国大会への切符を手にしてほしい。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議終了後、千葉県ジュニアBasketボール連盟のウェブサイトに掲載を予定している。

今大会、初日の台風接近により生徒役員が派遣できない中、北は葛北地区、南は安房地区から、たくさんの先生方にお集まりいただき、大会が無事に運営できたこと、そして印旛支部、八千代支部、山武支部、葛北支部の役員生徒をはじめ、皆さんの顧問の先生方が、大会運営に協力してくださり、円滑に大会を運営することができたことに、連盟一同感謝申し上げたい。